



中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会（書面開催）

意見聴取期間 令和4年3月11日～令和4年3月18日

- 1 報告事項 令和3年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業報告について…資料1
 - ・放課後児童健全育成事業
 - ・放課後子ども教室推進事業

- 2 協議事項
 - (1)令和4年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業計画（案）について …資料2
 - (2)第2期子ども・子育て支援事業計画に係る令和3年度の進捗について …資料3

中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員名簿

(令和4年3月31日まで)

	区分	所属	役職	氏名
1	行政関係者	教育委員会事務局	教育次長	小橋 善行
2		子ども部	部 長	小林 由美
3	学校関係者	校長会	豊井小学校 校長	芳原 慶子
4		教頭会	延徳小学校 教頭	油井 桐子
5	放課後児童健全 育成事業関係者	学童保育やまびこクラブ	所長	湯本 美雪
6		延徳放課後児童クラブ 保護者会	会長	小林 綾香
7	社会教育関係者	社会教育委員	委員	仮屋 慶一
8		青少年健全育成会 連絡協議会	地区会長	高田 秀樹
9	児童福祉関係者	民生児童委員協議会	主任児童委員部会 副部会長	片所 年子
10	P T A関係者	P T A連合会	高社小学校 P T A副会長	松島 弘芳
11	地域住民	ボランティア 連絡協議会	理事	齋藤 文子

事務局 子ども部子育て課青少年未来係 電話 22-2111 (内線 357)

子育て課長	神田 幸一
青少年未来係長	小高恵利子
青少年未来係	遠藤 明子
放課後子ども総合プラン指導員	有賀 透

中野市放課後子ども総合プラン推進事業の概要

国：「新・放課後子ども総合プラン」を策定（H30.9）

- 現行プランに伴い着々と整備⇒両事業の実績は伸びた⇒その間女性の就業率が上昇⇒更なる共働き家庭の増加
 - ⇒ **小1の壁を打破・待機児童の解消をするため、児童クラブの追加整備が必要**
- 小学校内での一体型事業の実施が目標に達していない⇒一体型ではなく、地域の実情で児童館や社会教育施設で両事業を実施する例が多数

現プラン見直し

- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の更なる拡充
- 全ての小学校区で両事業を実施し、内小学校内で一体型として実施する箇所を拡充
- 市町村は全ての児童が放課後を安全・安心に過ごせるよう、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を計画的に整備していくための市町村行動計画を策定すること⇒当市では、「中野市第2期子ども・子育て支援事業計画〔策定：令和2年3月：期間：令和2年度～令和6年度〕」の中に盛り込んでいる。



中野市放課後子ども総合プラン推進事業

名 称	中野市放課後子ども総合プラン推進事業	
趣旨・目的	国が示す「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材育成をするため、小学校に就学しているすべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型あるいは連携型の放課後児童健全育成事業と放課後子ども教室を実施するために、計画的な整備等を進める。	
事業内容	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	放課後子ども教室推進事業 (放課後子ども教室)
所 管	厚生労働省	文部科学省
運営委員会	中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を設置する。 (中野市放課後子ども総合プラン推進事業実施要領による。)	
実施個所	すべての小学校区域	一部の小学校区域
対象児童	保護者が就労、疾病、その他の事由で昼間家庭にいない小学校に就学している児童	その学校に在籍する全ての児童
活動場所	学校内教室、専用施設	小学校体育館等
スタッフ	放課後児童支援員 放課後子ども総合プラン指導員	放課後子ども総合プラン指導員(コーディネーター) 地域のボランティア

1 報告事項 令和3年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業報告

1 放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会の開催

(1)令和3年10月25日(月)

- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う放課後児童クラブ、放課後子ども教室について
- ・小学校統合に伴う放課後児童クラブ、放課後子ども教室について
- ・放課後子ども総合プラン指導員から推進事業について児童の様子を交えて説明

(2)令和4年3月(書面開催)

- ・令和3年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業報告について
- ・令和4年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業計画(案)について
- ・第2期子ども・子育て支援事業計画に係る令和3年度の進捗状況について

2 各事業の事業報告

(1)放課後健全育成事業(放課後児童クラブ)について

- ① 内容 共働き家庭など留守家庭の朱学校の児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し健全な育成を図る。

② 運営形態・利用状況(令和4年2月1日現在)

○ 児童センター内で実施 2か所(市直営)

開設場所	中野児童センター 放課後児童クラブ	平野児童センター 放課後児童クラブ
登録人数	132	85
事業計画における 量の見込み(R3)	72	49
R3利用者数実績	66	33

○ 専用施設で実施 3か所(市直営)

開設場所	中野放課後 児童クラブ	平野放課後 児童クラブ	平岡放課後 児童クラブ
登録人数	99	87	82
事業計画における 量の見込み(R3)	48	44	69
R3利用者数実績	36	35	38

○ 小学校余裕教室等利用 3か所(市直営)

	日野放課後児童クラブ	延徳放課後児童クラブ	豊田放課後児童クラブ
開設場所	日野小学校	延徳小学校	豊田小学校
登録人数	26	60	49
事業計画における 量の見込み(R3)	14	36	44
R3利用者数実績	15	29	14

○ 施設の空室等利用 5か所(市直営、学童保育やまびこクラブのみ運営を保護者に委託)

	学童保育やまびこクラブ	高丘放課後児童クラブ	長丘放課後児童クラブ	科野放課後児童クラブ	倭放課後児童クラブ	合計
開設場所	民家(賃借)	高丘学童育成会館	旧教員住宅	専用プレハブ	消防コミュニティーセンター	
登録人数	31	78	25	38	22	814
事業計画における 量の見込み(R3)	24	42	22	19	20	503
R3利用者数実績	15	36	12	18	6	353

③ 活動の時間、内容

開設時間 : 平日・・・下校時～午後6:00
 休校時・・・午前8時～午後6時(申請により午後6時30まで延長可能)
 開設しない日 : 日曜日、国民の祝日/12月29日から翌年の1月3日
 市長が別に定める日

④ 放課後児童クラブの一日

土曜日及び休校日		平 日	
8:00～12:00	全体活動及び 個人活動		
12:00～12:30	昼食		
12:30～14:00	休息(DVD等)		
14:00～15:30	全体活動及び 個人活動	14:00～15:30	全体活動及び 個人活動
15:30～16:00	おやつ	15:30～16:00	おやつ
16:00～16:30	個人活動	16:00～17:00	全体活動及び 個人活動
16:30～16:50	清掃	17:00～17:20	清掃
16:50～18:00	帰宅準備	17:20～18:00	帰宅準備
18:00～18:30	延長	18:00～18:30	延長

■ 行事等の主なもの

- ・誕生会(おたのしみ会) 2～3ヶ月に1回
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ 週に1回～月に1回程度
- ・七夕、クリスマス会、節分などの季節の行事
- ・送別会など児童の交流会

※行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各クラブ工夫してできる範囲で行った。

⑤ 支援員研修等

月 日	研 修 内 容
4月12日(月)	館長・所長会議(事業内容等確認、緊急時対応の再確認等)
7月6日(火)	普通救命講習会:AED使用方法、救命処置(消防署警防係) 会場:中野消防署行動
7月15日(木)	
11月1日(月)	長野県放課後児童支援員認定資格研修(5名受講)
11月2日(火)	
11月15日(月)	
11月16日(火)	
随時	支援の必要な児童への対応について 支援員の研修

⑥ 各児童クラブ運営委員会の開催実績及び施設整備等

- 各放課後児童クラブに設置している運営委員会を書面にて開催。
- 高社小学校区については、令和4年4月から放課後児童クラブが統合予定のため、今後の運営について運営委員会に説明。(北部4地区は運営委員会を2回開催)
 - ・長丘、平岡、科野、倭の4地区のクラブを統合するため、現在の平岡放課後児童クラブとR4.1月に工事完了となった新たな施設を渡り廊下で接続し運営。
- 北部の新しい放課後児童クラブの名称は「高社放課後児童クラブ」と決定。(令和3年12月議会 承認)
- 放課後児童クラブの主な施設工事
 - ・中野児童センター放課後児童クラブ
 - ……駐車場整備、水道自動水栓化及び温水化工事、玄関照明器具増設
 - ・平野児童センター放課後児童クラブ……水道自動水栓化及び温水化工事
 - ・中野放課後児童クラブ
 - ……クラブ室畳の表替、水道自動水栓化及び男女トイレ内手洗い場増設
 - ・平岡放課後児童クラブ……水道自動水栓化及び既存水栓改修工事
 - ・日野、延徳放課後児童クラブ……水道自動水栓化及び温水化工事
 - ・高丘放課後児童クラブ……水道自動水栓化工事
- 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・消毒、換気の徹底、自動消毒噴霧器や非接触型体温計の活用
 - ・おやつ、昼食時に仕切りや間隔などの対策の継続(まん防期間中はおやつ提供なし)
 - ・まん延防止等重点措置期間中における利用自粛の依頼を通知

発 出 日	自 粛 期 間
令和4年1月24日	1月27日～当面の間
令和4年2月18日	2月21日～3月6日まで

- クラブへの寄付について
 - ・薬用ハンドジェル … (株)ヒューマンリソースコミュニケーションズ様
 - ・ペットボトルジュース、フェイスタオル、お菓子(どら焼き、焼き菓子、飴)
 - … NPO ホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク) 代表 傳田様
 - ・ウサギのぬいぐるみ(手編み・手のひらサイズ) … 市内在住 平野様

3 その他

- ・子育て課職員が校長会へ出席し、事業の協力を依頼(令和3年4月)
- ・小学校内に設置した放課後児童クラブの管理について、教育委員会職員と連携(随時)
- ・教育委員会と協定を結び、小学校施設内で運営しているクラブについて管理運営上の所在等について明確化した
- ・小学校の分散登校等の対応や支援の必要な児童について学校関係者との情報共有や連携(随時)
- ・今年度から放課後子ども総合プラン指導員を配置し、遊びや体験活動の更なる充実を追求

放課後児童健全育成事業の様子

[コロナ対策しっかりしています ・手洗い (延徳) ・おやつ (平野)]



[読み聞かせ (バラ)]



[工夫しながら遊びを楽しみます (日野)]



[雪遊びもたくさんできました (長丘)]



[記念製作 プラ版づくり (倭)]



(2)放課後子ども教室推進事業（ぼっぴ教室）について

《ぼっぴ教室の概要》

○放課後に、学校施設を利用し、学校との連携・協力のもと、地域の教育力を生かして異年齢集団でのあそびや体験活動などの機会を子どもに提供し、子どもの育ちをサポートする。

事業がもたらすもの

- 人格形成を支える・豊かな対人関係を育む
 - ・異年齢交流のできる場所
 - ・安全で規則正しい生活が送れる場所
 - ・あそびを主体に活動できる場所
 - ・自由で開放的でいられる場所
- 地域教育力を生かす
 - ・地域の文化に触れること
 - ・地域の人にふれあえる場所
 - ・学校教育とかかわって支援できる場所

事業の特色

- 1 安全で豊かな体験のできる場の提供
- 2 子どもが自己の責任で活動する場
自主的な活動の機会
- 3 小学校施設を利用、地域教育力の活用

なぜ学校が会場に

- ・安全で広いスペースがある。
- ・多くの友だちが参加できる。
- ・下校後直接移動できる。



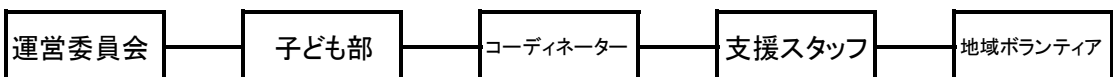
活動のめざすもの

- ～ 笑顔は子どもの宝もの ～
- 自分から進んで活動する子どもに
 - ・自ら伸びる力を支援する(楽しく自己実現)
 - 友だちと協力して活動できる子どもに
 - ・友だちと一緒にいい汗を流す子どもに
 - 地域のよさを感じる子どもに
 - ・地域の人たちと子どもが身近な存在に

活動の4つの柱

- ①あそびの場
ゲームや昔のあそび、自由あそび
- ②体験の場
軽いスポーツや工作で楽しい活動
- ③交流の場
異年齢や高齢者、外国人とふれあえる
- ④学びの場
世の中のことや生活のことなど楽しく学ぶ

運営について



① ほっぷ教室の概要

令和3年度は、市内4小学校において135人の児童が参加し、10名のボランティアの皆さんの支援によって週1回 学校の体育館などで運動や遊び等を行った。

令和3年度ほっぷ教室の概要

会場名		日野	延徳	高丘	豊田	備考
開催日		木曜日	金曜日	月曜日	水曜日	
時間	低学年	3:20~4:35	3:10~4:00	/	3:20~4:30	
	高学年	4:00~4:35	4:10~4:45			
	冬期間	3:20~4:15	3:10~4:00	4:50に終了	4:15に終了	
スタッフ数		2	5	3	4	
実施回数(予定)		14(26)	12(24)	16(26)	14(25)	56(101)
開始月日		5月20日	6月11日	6月21日	6月9日	
登録人数		22	53	26	34	135
学年	1年生	8	15	/	10	33
	2年生	9	19	/	3	31
	3年生	5	8	/	4	17
	4年生	0	7	6	7	20
	5年生	0	2	6	1	9
	6年生	0	2	14	9	25
参加延べ人数 (1月末現在)		285	667	251	452	1665
対象学年		全学年	全学年	4~6年生	全学年	
備考		冬期間、3年生以上の活動はない。 ※2月 3回	冬期間、3年生以上の活動はない。 ※2月 2回	冬期間短縮。 ※2月 4回	冬期間短縮 ※2月 3回	

■登録児童数

135人

■対象学年児童数に対するほっぷ教室参加者数 (児童数については1/1現在)

1年生	33/63人	52%	4年生	20/72人	28%
2年生	31/50人	62%	5年生	9/67人	13%
3年生	17/48人	48%	6年生	25/71人	35%

② 活動の内容

ア スタッフの指導による遊び

○コーディネーター役が中心になって、その日の遊びメニューを紹介し、他のスタッフの協力を得て進める遊び。

- ・おにごっこ(手つなぎおに・高おに)・ドッジボールなどの集団遊び
- ・折り紙・お絵描き・紙工作などの創作活動
- ・パラシュート(コロナ対策で不使用)・フラフープ・大縄跳び・バドミントンなど用具を使った遊び

イ 外部講師による指導

○各会場とも、年間3回の外部講師による指導の実施

- ・ヒップホップ指導者を招いた教室……………10月27日~12月10日に5会場で実施
指導者 中山愛先生

ウ 自由遊び

○子ども達の自然発生的な遊びを見守り一緒に遊ぶ

③ 活動に見る子どもの成長

- ・6月当初は、やりたいことをやりたいように振り舞い、スタッフの指示や注意を聞かないなどの状況があつて心配していたが、信頼関係ができるとともに少しずつ落ち着いてきた。高学年の中には、低学年を諭したり、世話をやいてくれる子どもが出てきて成長も見られた。
- ・グループが学年ごとだったり、なかよしの友達だったり固定している傾向が強かったが、次第に仲間関係が広がり、遊び集団としてのまとまりが出来てきた。
しかし、中には個性的な参加者が多く、トラブルも減らず、集団としてなかなかまとまらないで苦勞している会場もある。
- ・遊びの仲間に入れず、ひとりぼっちになってしまう子がみられた。スタッフが声がけして一緒に遊ぶことなどを繰り返すことにより、仲間と遊ぶことの楽しさを味わい、次第に数人の仲間と遊べるようになってきた例もあるが人間関係を築くことが苦手な子への支援の難しさもある。
- ・自分勝手な行動をとる子・注意すると反発する子・暴力的な行為に走る子などを把握し、グループ分担や気になる子の担当者を決めて、安全で楽しい教室運営に努力している。
- ・子ども達は、遊びの中で確かに成長している。スタッフの皆さんと共に成果をかみしめながら、週1回のぽっぷ教室を大事にしていきたい。特に1年生の成長は顕著であり学ばされた。
- ・異学年、男女混合の良さを生かした集団での遊びをスタッフの皆さんと考えていきたいが、体力差、男女の遊び志向、この二つを克服するのはとても難しい。(例:ドッジボールは男子には好評であるが女子にとっては怖さもあり興味を持ちにくい。) 更に工夫が必要である。

④ 活動を振り返って

- ・参加者の募集業務、会場の確保、日程の調整、緊急時の対応・連絡など学校に大変な協力をいただいた。また、ボールなど学校の備品も心よく貸してもらい本当にありがたかった。
- ・担当スタッフが都合で休む時は、他のスタッフが気持ち良く代替えに応じていただいたり、課内の職員に分担して参加してもらったり、やり繰りをしている。
前年度から数名のスタッフが減っているが、安全で充実した活動にするためには、各会場のスタッフを最低3人~4人確保できるように目指していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、健康観察と共に手指消毒を会場に入ったときと、退出時に行った。担当スタッフは常時マスク着用とした。
- ・スタッフ一人ひとりが、熱心に活動に取り組み、楽しく安全な「ぽっぷ教室」づくりに努力した。子どもたちは、楽しそうに体育館を走り回るなど、身体いっぱい使って活動する姿がどの会場でも見られ、楽しいぽっぷ教室であると考えた。次年度は、集団遊びを意図的に設定し、メリハリあるぽっぷ教室となるよう、さらに工夫したい。
- ・会場によっては30人以上の低学年の子どもが参加している。50名以上が一斉に遊ぶのは安全の上から心配なので、昨年度同様二部制にした。子ども達の活動時間は多少減少するが、安全な活動につながっている。来年度以降の中規模、大規模校の実施に生かしていきたい。
- ・スタッフが休んだ時の代替要員は、今年度子育て課内で人数を確保してきた。担当がいけない場合も同様の対応をした。来年度は該当校以外のスタッフさんに依頼したい。5月の研修会にてお願いしていきたい。
- ・参加者数は、昨年に比べ4名減。

(H26:282名、H27:275、H28:283、H29:286、H30:280、R1:306、R2:139名、**R3:135名**)

豊井小、永田小が閉校し、豊田小が新たに開校

日野7名・延徳2名・豊田(豊井・永田)4名減少し、高丘9名増加した。

⑤ 次年度に向けて

ア スタッフの確保

- ・高社小で新たに開設予定。今年度活躍のスタッフにはぜひとも継続をお願いする。
- ・新規スタッフを開拓し、補充スタッフを確保したい。最低でも3～4名増員したい。

イ 運営の工夫

- ・友だちと一緒に活動することの楽しさや喜びを味わわせるため、集団遊びを大事にする。
- ・活動にメリハリをもたせ、子どもたちの遊びの環境をさらに豊かにしたい。スポーツも大切に
するが工作等、互いの良さを発見する活動も取り入れたい。
- ・日々の活動の他、外部講師による教室もさらに充実させたい。グランセローズなど、スポ
ーツチームの関係者とのふれあいを促進する。
- ・他を思いやったり、決まりを守ったりすることの心地よさを感じ取らせるため、「初めの会」
と「終わりの会」や「お礼」「挨拶」がきちんとできるように工夫する。
- ・遊びの安全確保のために50人以上の学校は、今年度と同じく2部制にしていく。
- ・スタッフの積極的なリーダーシップをさらに期待したい。

ウ 安心安全対策

- ・来年度も下校の安全を図るために、ぼっぷ教室終了後の迎えを保護者をお願いする。
日没の早い冬期間(11月～2月)についてはこれまで同様、終了時刻を早めることで、
交通事故の防止、降雪、凍結による事故防止、不審者遭遇への対応を図っていきたい。
- ・ぼっぷ教室開始までの時間の安全な過ごし方について、学校ともよく連絡をとって、相互
理解を図りたい。

エ スタッフの資質向上

- ・研修会への参加を呼びかける(救急法研修や県教委主催研修に出席)。
- ・可能な限りスタッフの配置変更を行うことなどを通して、スタッフの気分を変えていくととも
に、お互いの学び合いによる資質の向上を図りたい。

■ 放課後子ども教室推進事業

(実施経過)	平成 16 年度開始小学校	長丘小、倭小
	平成 17 年度開始小学校	延徳小、科野小
	平成 19 年度開始小学校	平岡小、豊井小
	平成 20 年度開始小学校	高丘小
	平成 21 年度開始小学校	日野小、永田小
	令和 3 年度開始小学校	豊田小

子どもたちの活動の様子

①ダンスでいい汗かこう
心がととのうね～



②ダンスでいい汗かこう
楽しいね～



③ダンスでいい汗かこう
けっこうつかれるね～



④ダンスでいい汗かこう
体にいいね～



ぽっぷ教室参加登録者数

年度	会場数	登録人数	登録率(%)
17	4	144	30.3
18	4	151	30.7
19	6	185	20.4
20	7	261	25.6
21	9	348	29.2
22	9	326	24.0
23	9	268	20.3
24	9	272	21.8
25	9	253	21.3
26	9	282	24.6
27	9	275	25.7
28	9	296	31.6
29	9	296	32.5
30	9	280	31.1
R1	9	306	37.3
R2	5	139	37.3
R3	4	135	33.2%

※登録率は会場校対象全児童数に対して

2 協議事項

(1) 令和 4 年度「放課後子ども総合プラン推進事業」事業計画(案)について

1 放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会の開催

【検討事項】 事業計画の策定、支援スタッフ等の人材確保、活動プログラムの企画
事業実施後の検証と評価 等

2 放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）

■市内 10 クラブで実施（4月1日から）

	放課後児童クラブの名称	場 所	備 考
1	中野市中野児童センター放課後児童クラブ	中野市中央二丁目 1 番 27 号	
2	中野市平野児童センター放課後児童クラブ	中野市大字岩船 43 番地	
3	中野市中野放課後児童クラブ	中野市大字一本木 132 番地	
4	中野市日野放課後児童クラブ	中野市大字新野 827 番地	
5	中野市延徳放課後児童クラブ	中野市大字三ツ和 1731 番地	
6	中野市平野放課後児童クラブ	中野市大字岩船 43 番地	
7	中野市高丘放課後児童クラブ	中野市大字草間 1078 番地 1	
8	中野市高社放課後児童クラブ	中野市大字金井 57 番地 3	
9	中野市豊田放課後児童クラブ	中野市大字豊津 4296 番地 1	
10	学童保育やまびこクラブ	中野市大字小田中 222 番地 1	委託クラブ

開設時間 : 平日・・・下校時～午後 6 : 00

休校時・・・午前 8 時～午後 6 時 (申請により午後 6 時 30 まで延長可能)

開設しない日 : 日曜日、国民の祝日、12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日

市長が別に定める日

■放課後児童クラブ支援員の研修及び情報交換会の実施

■各放課後児童クラブに設置している運営委員会の開催

■放課後児童クラブ統合整備事業の推進

・科野放課後児童クラブ解体工事

■支援や配慮を必要とする児童等の教育委員会及び学校関係者との情報共有（随時）

■新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校等の休業が急増加し社会的機能維持に影響を及ぼす恐れのある場合は支援を講じる。

新規事業

■クラブ利用保護者との連絡手段として、連絡強化・利用管理アプリを導入

■支援や配慮を必要とする児童に対し、支援員が療育コーディネーター等の専門的知識を取り入れ適切な児童支援を充実させる（支援相談業務委託の実施）

【今後の課題】

- ・行政改革集中改革プランに基づく民間委託等の検討
- ・延長時間の拡大（現在は最長 18 時 30 分まで）
- ・学習支援の充実について（放課後子ども教室との連携も含む）

3 放課後子ども教室推進事業（放課後子ども教室）

■各校の活動計画 ※令和4年度から新規で高社小が活動開始となります

学校名	参加学年	曜日	開始予定日	会場	活動時間	参加児童数(見込)	スタッフ人数(見込)	予定開催回数(見込)
日野小	1年～6年	木	5月19日	体育館	3:20～4:35	25	3人	26
延徳小	1年～6年	金	6月10日	体育館	3:10～4:45	55	5人	26
高丘小	4年～6年	月	6月20日	体育館	4:00～5:05	20	3人	26
豊田小	1年～6年	水	6月8日	体育館	3:20～4:30	35	4人	26
高社小	1年～6年	火	6月	体育館	3:00～4:30	60	4人	8

* 帰宅の安全のため、冬期間(11月～2月)は時間を短縮します。

■活動内容

- (1) 軽いスポーツやレクリエーション活動
- (2) 自主的で自由な遊び
- (3) 地域の方とふれあいや一緒に体験する活動
- (4) 昔の遊びや学びあい活動など

* 異学年での活動の利点を生かし、さまざまなあそびや体験をとおして成長できるための集団で遊ぶ場と機会・活躍できる場をつくったり、個の良さを更に伸ばしたりするための遊びの工夫を通して活動を支援する。

■運営指導体制

- (1) コーディネーターが各回の内容を計画し、子どもの活動を支援する。
- (2) 体験活動等は、地域講師やボランティアの協力を得て、随時実施する。

■保護者負担

- (1) 参加費はないが、工作材料等で必要な費用は徴収する。
- (2) 傷害保険加入費(800円)は保護者が負担する。

■保護者へのお願い

- (1) 原則として、保護者(本人)の責任において帰宅するので特に交通事故や不測のけが等には注意を払うようにする。
- (2) ぽっぷ教室終了後には、できる限り子どもの迎えをお願いする。

■ボランティアの皆さんへの研修会及び情報交換会の実施(随時)

■教育委員会及び学校関係者との情報共有(随時)

【今後の課題】

- ・大規模校での実施に向けて
放課後に利用できる体育館や空き教室等があるか、児童会開催日(低・高の二部制実施)の予定などを確認し、小学校と協議を進めていきます。(R4は高社小で実施予定)
- ・学習支援の充実について

2 協議事項

(2) 第 2 期子ども・子育て支援事業計画に係る令和 3 年度の進捗状況について

中野市の目標：第 2 期子ども・子育て支援事業計画から抜粋

■ 放課後児童クラブの年度ごとの量の見込み及び目標整備量 (人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	488	503	516	531	533
目標整備量(平日利用平均)	488	503	516	531	533
令和3年度実績(2/1現在)	355	353	-	-	-

※令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校休業や利用自粛によりで昨年度に引き続き平日利用人数は減少傾向にある

■ 放課後子供教室の実施計画 (校)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学校数	8	7	7	7	7
一体型	4	3	4	5	5
連携型	1	1	1	1	2
開設割合	62.5%	57.1%	71.4%	85.7%	100%
令和3年度実績	5	4	-	-	-
R3 開設割合	62.5%	57.1%	-	-	-

※令和 3 年度 【一体型】日野、延徳、豊田 【連携型】高丘

(1) 放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な、又は連携による実施に関する具体的な方策

具体的な方策	放課後児童クラブ及び放課後子供教室を一体的又は連携して実施できるように、放課後子供教室の内容を工夫し検討します。また、放課後児童クラブ支援員と放課後子供教室のコーディネーターの情報共有を図り、児童の参加しやすい環境づくりに努めます。
令和 3 年度進捗状況	現在、市内4小学校(日野・延徳・高丘・豊田)において、放課後子供教室を実施しており、参加人数や参加学年層にあった内容となるよう工夫し、1年間を通し仲間づくりができるよう、見直しをもった運営を行いました。また、令和3年度から放課後子ども総合プラン指導員を配置し、児童クラブと子供教室の情報共有を図っています。 令和4年度から新たに高社小学校で月1回実施する予定であり、児童の安全と参加しやすい子供教室となるよう工夫していきます。 未実施の小学校については、引き続き実施に向けて検討を行います。

(2) 小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子供教室への活用に関する具体的な方策

具体的な方策	一部の放課後児童クラブは、管理などについて市と教育委員会及び学校で協議し、余裕教室を改修整備した教室で運営しています。また、放課後子供教室は、余裕教室では行っておらず、体育館や特別教室等を一時的に利用して実
--------	---

	<p>施しています。</p> <p>今後においても、余裕教室等の活用については、市、教育委員会及び学校と話し合う機会を持ち、新・放課後子ども総合プランの必要性、意義等について理解を求めていきます。</p>
令和3年度進捗状況	<p>現在、3児童クラブでは学校の余裕教室等を利用し運営しており、その他8児童クラブでは、学校敷地外にある施設で運営しています。今後、余裕教室等の活用について、教育委員会や学校と国の「新・放課後子ども総合プラン」通知に基づき、必要な時期に協議いたします。</p>

(3) 教育委員会と子ども部との具体的な連携に関する方策

具体的な方策	<p>放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施を一体的に進めるため、両事業の担当は子ども部ですが、実施については学校との調整が不可欠であるため、教育委員会と連携し情報共有を図り、必要に応じて文書等による申し合せを行いながら、進めることとします。</p>
令和3年度進捗状況	<p>新・放課後子ども総合プランに基づく学校施設の活用にあたっては、令和3年4月1日に教育委員会と協定を結び、管理運営上の責任の所在について明確したところです。</p> <p>両事業での施設管理や特別な配慮が必要な児童への情報共有等については、教育委員会、学校と随時連携を取りながら進めています。</p>

(4) 特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策

具体的な方策	<p>放課後児童クラブ及び放課後子供教室における特別な配慮を必要とする児童の受け入れは、放課後児童クラブ支援員の増員や研修を行うなどして、児童及び保護者が安心して過ごすことのできるよう対応していきます。</p>
令和3年度進捗状況	<p>学校、子ども相談室、子育て課などの関係者でその情報を共有し、対応方針を話し合い、細やかな対応を行っています。支援や配慮が必要な児童が増えているため、令和4年度から専門的知識を持つ者による助言等を支援員が受けられるよう支援体制を充実します。</p>

(5) 地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組

具体的な方策	<p>放課後児童クラブの開所時間の延長については、保護者からの要望など把握したうえで方向性を検討し、必要な調整を進めていきます。</p>
令和3年度進捗状況	<p>現在、全ての放課後児童クラブで午後6時30分まで開所時間の延長を実施しています。更なる時間の延長については、保護者の要望を聞きながら検討します。</p>

(6) 放課後児童クラブの役割をさらに向上させていくための方策

具体的な方策	<p>放課後児童クラブは、単に児童を預かるだけではなく、基本的な生活習慣や異年齢児童などとの係わりを通じた社会性の習得、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる「遊びの場」「生活の場」となるように、子どもの主体性を尊重し、子どもの自主性、社会性等の向上を図るため、発達段階に応じた環境づくりを進めていきます。また、支援員がきめ細やかな配慮と適切な判断ができるよう研修を充実させ、支援の質の向上を目指します。</p>
令和3年度進捗状況	<p>現在、子どもの遊びを通して異学年の子ども同士が仲間になったり、高学年の児童が低学年の児童に対して教えたり指導したりする場面が見られます。今後も個々の発達段階に応じた支援ができるよう、支援員の質の向上を目指し、随時研修やカンファレンスを行います。</p>

(7)各放課後児童クラブにおける育成支援の内容について、利用者や地域住民への周知を推進させるための方策

具体的な方策	放課後児童クラブは、児童の健全育成のために地域や学校等と連携して子どもの育ちを支えることが必要なことから、利用者、学校及び地域住民との共通理解や情報共有の場を設けるとともに、スポーツ・文化団体など地域人材の参画の促進に努めていきます。
令和3年度 進捗状況	各児童クラブで運営委員会を開催し、地域の方と共通理解や情報共有の場を設けています。 地域の方の参画については、民生児童委員や各地区社会福祉協議会、学校関係職員等が日ごろから児童クラブの行事等に参加してもらっています。 保護者の皆さんにも随時おたよりを出し、支援の内容について周知していきます。

■参考資料

放課後子ども総合プラン利用者数見込み（令和4年度）

(1日当たり人数)

		令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
		放課後子ども教室推進事業		放課後児童健全育成事業		計	
中野小学校区		0	0	144	148	144	148
	中野児童センター放課後児童クラブ	-	-	72	74	72	74
	中野放課後児童クラブ	-	-	48	50	48	50
	学童保育やまびこクラブ	-	-	24	24	24	24
日野小学校区		20	25	14	14	34	39
	小学校内（ぼっふ、放課後）	20	25	14	14	34	39
延徳小学校区		60	55	36	37	96	92
	小学校内（ぼっふ、放課後）	60	55	36	37	96	92
平野小学校区		0	0	93	96	93	96
	平野児童センター放課後児童クラブ	-	-	49	51	49	51
	平野放課後児童クラブ	-	-	44	45	44	45
高丘小学校区		20	20	42	43	62	63
	小学校内（ぼっふ）	20	20	-	-	20	20
	高丘放課後児童クラブ	-	-	42	43	42	43
高社小学校区		0	60	130	133	130	193
	小学校内（ぼっふ）	0	60	-	-	20	60
	高社放課後児童クラブ	-	-	※ 42	133	※ 42	133
豊田小学校区		50	35	44	45	94	80
	小学校内（ぼっふ、放課後）	50	35	44	45	94	80
計		150	195	503	516	653	711

※ 高社小学校区の令和3年度欄は長丘・平岡・科野・倭の合算数。（放課後児童健全育成事業）

■高社放課後児童クラブについて

令和4年4月1日から計画のとおり北部4クラブを統合し、高社小学校隣接地にて「高社放課後クラブ」を開所します。

施設の概要等については、同封のチラシを御覧ください。

～「高社放課後児童クラブ」見学会の御案内～

今回の運営委員会を建設した「高社放課後児童クラブ」で開催予定でしたが、書面によることとなりました。

高社放課後児童クラブの見学会を下記のとおり開催しますので、この機会に新しい児童クラブを御覧ください。

記

日時 令和4年3月22日（火） 午前10時～正午
会場 高社放課後児童クラブ 大字金井57-3

